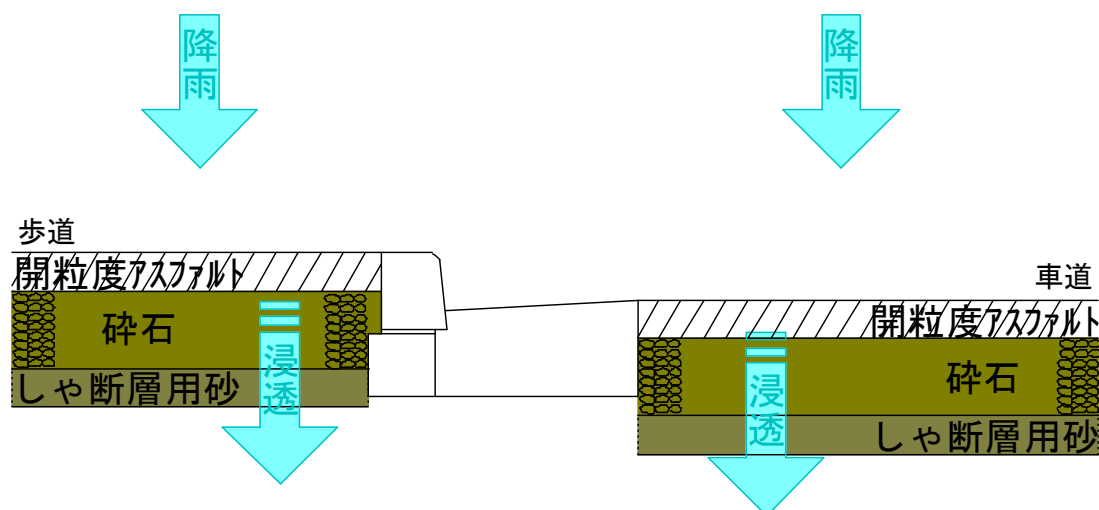


車道透水性舗装

近年、都市部において多発している局地的集中豪雨による河川や下水道への負担軽減、環境対策の観点から、透水性舗装を導入してこなかった車道のうち、細街路の車道舗装について、平成18年度より透水性に転換しています。

■特徴

- 水はね防止効果があります。
- 流末下水・河川施設の負荷軽減効果があります。
- 地下水の枯渇化防止効果があります。
- 車両走行による道路交通騒音を低減します。
- ハイドロプレーニング現象を抑制します。



表層、基層、路盤等に透水性を有した材料を用いて、雨水を路盤以下へ浸透させる機能をもつ、車道対応の舗装です。雨水の処理方法で、雨水を路床に浸透させる構造（路床浸透型）と雨水流出を遅延させる構造（一時貯留型）に大別できます。本区では、路床浸透型を導入しています。